

令和4年度石川県保険者協議会 (第3回)

日 時 令和5年1月27日(金) 14時～
場 所 石川県地場産業振興センター本館3階
「第3研修室」

次 第

1 開 会

会長あいさつ

2 協議事項

- (1) 令和4年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担(精算案)について (資料1)
- (2) 令和5年度石川県保険者協議会歳入歳出予算(案)について (資料2)
- (3) 令和5年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担(案)について (資料3)
- (4) 令和5年度作業部会への付託事項(案)について (資料4)
- (5) その他

石川県保険者協議会出席者名簿

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

| 区 分 | 所 属 | 委 員 | | 備 考 |
|--|--------------------------------|-------------------|--|------------------------------------|
| | | 職 名 | 氏 名 | |
| 健康保険組合連合会等 支 部 | 北 國 新 聞 組 合 健 康 保 險 組 合 | 常 務 理 事 | 菊 地 晃 | (欠) |
| | 澁 谷 工 業 組 合 健 康 保 險 組 合 | 常 務 理 事 | 西 村 聡 | (欠) |
| | 北 陸 情 報 産 業 組 合 健 康 保 險 組 合 | 常 務 理 事 | 梨 野 昌 美 | 随 行 健康保険組合連合会石川連合会 事務局長 畑 伸彦 |
| 全国健康保険協会 石 川 支 部 | 全 国 健 康 保 險 協 会 部 石 川 支 部 | 支 部 長 | 横 本 篤 | |
| | 全 国 健 康 保 險 協 会 部 石 川 支 部 | 企 画 総 務 部 長 | 井 上 智 恵 美 | |
| | 全 国 健 康 保 險 協 会 部 石 川 支 部 | 企 画 総 務 グ ル ー プ 長 | 長 谷 川 一 予 | |
| 共 済 組 合 保 険 警 石 川 共 済 組 合 部 石 川 県 支 部 | 事 務 長 | 中 川 一 雅 | | |
| 国 民 健 康 保 険 金 福 沢 健 康 市 局 加 市 民 健 康 市 部 か ほ く 市 部 健 康 福 祉 市 部 穴 水 町 石 川 県 医 師 会 国 民 健 康 保 険 組 合 | 医 療 保 険 課 長 | 松 本 尚 人 | | |
| | 保 険 年 金 課 長 | 北 村 茂 樹 | | |
| | 保 険 医 療 課 長 | 北 川 直 紀 | | |
| | 住 民 課 長 | 谷 口 天 洋 | | |
| | 事 務 長 | 南 善 史 | | |
| 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 石 川 県 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 | 事 務 局 長 | 小 崎 隆 司 | | |
| 石 川 県 石 川 健 康 福 祉 部 | 健 康 福 祉 部 次 長 兼 健 康 推 進 課 長 | 木 村 慎 吾 | (欠) | |
| | 医 療 対 策 課 長 | 高 橋 健 司 | 随 行 国 保 財 政 運 営 GL (主 幹) 吉 川 将 生 | |
| 国 民 健 康 保 険 団 体 連 合 会 石 川 県 国 民 健 康 保 険 団 体 連 合 会 | 常 務 理 事 | 大 畠 秀 信 | | |

《 オブザーバー 》

| 所 属 | 職 名 | 氏 名 | |
|-----------------|-------|---------|--|
| 石 川 県 医 師 会 | 理 事 | 齊 藤 典 才 | |
| 石 川 県 歯 科 医 師 会 | 副 会 長 | 千 田 恭 恵 | |
| 石 川 県 薬 剤 師 会 | 副 会 長 | 藤 原 秀 範 | |
| 石 川 県 栄 養 士 会 | 会 長 | 田 中 弘 美 | |

《 事務局 》

| 所 属 | 職 名 | 氏 名 | |
|-----------------------------|--------------------------------------|-----------|--|
| 石 川 県 健 康 福 祉 部 | 医 療 対 策 課 主 任 主 事 | 新 保 容 世 | |
| | 健 康 推 進 課 生 活 習 慣 病 対 策 GL (課 長 補 佐) | 酒 井 徳 子 | |
| 石 川 県 国 民 健 康 保 険 団 体 連 合 会 | 事 務 局 長 | 小 嶋 一 彦 | |
| | 健 康 づ くり 支 援 課 長 | 茅 山 加 奈 江 | |
| | 健 康 づ くり 支 援 課 担 当 課 長 | 荒 木 早 苗 | |
| | 健 康 づ くり 支 援 課 担 当 課 長 | 奥 野 弘 之 | |

石川県保険者協議会設置運営規程

(目的)

第1条 石川県保険者協議会（以下「協議会」という。）は、石川県内の保険者（高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）第7条第2項に規定する保険者及び都道府県後期高齢者医療広域連合をいう。以下同じ。）の加入者に係る健康づくりの推進に当たり、保険者間の問題意識の共有や、それに基づく取組の推進等を図るとともに、石川県医療費適正化計画の策定または変更、同計画の実施についての石川県への協力、石川県医療計画の策定または変更にあたっての意見提出等を行うことを目的とする。

(事業)

第2条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項について協議を行うものとする。

- (1) 特定健康診査等の実施、高齢者医療制度の運営等に関する保険者その他の関係者間の連絡調整
- (2) 保険者に対する必要な助言または援助
- (3) 医療に要する費用等に関する情報についての調査及び分析
- (4) 医療費適正化計画の策定及び変更に関し、保険者協議会において行った調査及び分析の結果等に基づく意見提出
- (5) 医療費適正化計画の実施についての石川県への協力
- (6) 医療計画の策定変更に関し、保険者協議会において行った調査及び分析の結果等に基づく意見提出

(構成)

第3条 協議会は、石川県内の次の区分からの推薦による委員をもって構成する。

- | | |
|---|----|
| (1) 石川県を代表する者 | 2名 |
| (2) 健康保険組合連合会支部等を代表する者 | 3名 |
| (3) 全国健康保険協会石川支部を代表する者 | 3名 |
| (4) 国民健康保険の保険者たる市町及び石川県医師国民健康保険組合を代表する者 | 5名 |
| (5) 国民健康保険団体連合会を代表する者 | 1名 |
| (6) 共済組合支部を代表する者 | 1名 |
| (7) 後期高齢者医療広域連合を代表する者 | 1名 |

2 協議会は、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会及び栄養士会を代表する者、学識経験者並びに企業及び大学等の関係者等の参画及び助言を求めることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合は、第3条に掲げている区分の組織が推薦書を提出し、推薦された委員が従前の職務を行い、任期は前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 協議会には、会長1名、副会長2名及び監事1名を置くこととし、委員の中から互選する。

2 会長は協議会を代表し、会務を総括する。

3 会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。

4 監事は会計監査及び業務執行状況を監査し、定期的に監査報告を行う。

5 会長、副会長、監事が任期途中で退職又は辞任した場合は、互選に関わらず後任者が従前の職務を行うものとする。また、任期が満了した場合は、後任者が就任するまでは、任期が満了したと同時に退職した者以外については、前任者が従前の職務を行うものとする。退職者の職務については、会長又は副会長がその職務を行うものとする。

(会議)

第6条 協議会は、必要に応じて会長が召集し、会長が座長となる。

(作業部会の設置)

第7条 協議会には、第2条の具体的実施の検討を行うため、作業部会を設置する。

2 作業部会は、協議会から付託された事項について調査審議し、その結果を協議会に報告する。

3 前項の定めるもののほか、作業部会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(議事)

第8条 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

2 協議会の議事は、委員のうち会議に出席したものの過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(費用の負担)

第9条 第2条に掲げる事業実施に要する費用については、協議会を構成する関係者が応分に負担する。

(事務局)

第10条 協議会の事務は、石川県及び石川県国民健康保険団体連合会が処理する。

2 事務局に関し必要事項は、会長が別に定める。

(その他)

第11条 この規程に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規程は、平成17年6月13日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年6月11日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成20年7月7日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年10月30日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成27年6月18日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

2 第9条に定める経費については、国から助成を受けられる間については、当該助成額を控除して得た額とする。

附 則

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

2 第9条に定める経費については、国から受ける助成額を控除して得た額とする。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成31年1月29日から施行する。ただし、第3条第1項の改正規定及び次項の規定は、同年4月1日から適用する。

2 石川県保険者協議会設置運営規程の一部を改正する規程（平成28年2月29日決定）の附則の一部を次のように改正する。

附則第2項中「助成を受けられる間については、当該」を「受ける」に改める。

石川県保険者協議会作業部会運営要領

(目的)

第1条 石川県保険者協議会規程第7条の規定に基づき、石川県保険者協議会作業部会（以下「作業部会」という）を設置し、石川県保険者協議会（以下「協議会」という。）から付託された事項について調査・審議することにより、協議会の円滑な運営に寄与することを目的とする。

(任務)

第2条 作業部会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 石川県内における医療費の調査、分析、評価に関すること。
- (2) 各保険者の保健事業の共同実施に関すること。
- (3) 各保険者の独自保健事業についての調査及び情報交換に関すること。
- (4) その他目的達成に必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 作業部会は、石川県内の次の区分からの推薦による委員若干名をもって構成する。

- (1) 健康保険組合関係者
- (2) 全国健康保険協会関係者
- (3) 国民健康保険関係者
- (4) 共済組合関係者
- (5) 後期高齢者医療広域連合関係者
- (6) 石川県関係者

2 作業部会は、必要に応じて関係者の参画及び助言を求めることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合は、第3条に掲げている区分の組織が推薦書を提出し、推薦された委員が従前の職務を行い、任期は前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 作業部会には、部会長1名、副部会長1名を置くこととし、部会委員の中から互選する。

- 2 会議は、必要に応じて協議会会長が召集し、部会長がその座長となる。
- 3 部会長に事故あるときは、副部会長がその職務を代理する。

4 部会長、副部会長が任期途中で退職又は辞任した場合は、互選に関わらず後任者が従前の職務を行うものとする。また、任期が満了した場合は、後任者が就任するまでは、任期が満了したと同時に退職した者以外については、前任者が従前の職務を行うものとする。

(費用の負担)

第6条 作業部会の運営等に要する経費については、作業部会を構成する関係者が応分に負担する。

(事務の処理)

第7条 作業部会の事務は、石川県及び石川県国民健康保険団体連合会が処理する。

(その他)

第8条 この要領に定めるもののほか、作業部会の運営に必要な事項は、協議会会長が別に定める。

附 則

この要領は、平成17年6月13日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年6月11日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成20年7月7日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年10月30日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年1月29日から施行する。

(1) 令和4年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担(精算案)

令和4年度石川県保険者協議会歳入歳出決算書 (見込)

| 歳 入 | | | | |
|---------|---------|--------------|--------------|---------------------|
| 款 | 項 | 予算現額 | 収入済額 (見込) | 予算現額と収入済額と の 比 較 |
| 1 国庫支出金 | | 円 954,000 | 円 954,000 | 円 0 |
| | 1 国庫補助金 | 954,000 | 954,000 | 0 |
| 2 負担金 | | 987,000 | 704,726 | △ 282,274 |
| | 1 負担金 | 987,000 | 704,726 | △ 282,274 |
| 3 繰越金 | | 263,000 | 262,977 | △ 23 |
| | 1 繰越金 | 263,000 | 262,977 | △ 23 |
| 4 諸収入 | | 2,000 | 20 | △ 1,980 |
| | 1 諸収入 | 2,000 | 20 | △ 1,980 |
| 5 借入金 | | 1,000 | 0 | △ 1,000 |
| | 1 借入金 | 1,000 | 0 | △ 1,000 |
| 歳入合計 | | 2,207,000 | 1,921,723 | △ 285,277 |

| 歳 出 | | | | | |
|--------|---------|--------------|--------------|-------------|---------------------|
| 款 | 項 | 予算現額 | 支出済額 (見込) | 不用額 | 予算現額と支出済額と の 比 較 |
| 1 総務費 | | 円 361,000 | 円 327,964 | 円 33,036 | 円 33,036 |
| | 1 総務管理費 | 361,000 | 327,964 | 33,036 | 33,036 |
| 2 事業費 | | 1,582,000 | 1,067,762 | 514,238 | 514,238 |
| | 1 事業費 | 1,582,000 | 1,067,762 | 514,238 | 514,238 |
| 3 諸支出金 | | 262,000 | 262,000 | 0 | 0 |
| | 1 諸支出金 | 262,000 | 262,000 | 0 | 0 |
| 4 予備費 | | 2,000 | 0 | 2,000 | 2,000 |
| | 1 予備費 | 2,000 | 0 | 2,000 | 2,000 |
| 歳出合計 | | 2,207,000 | 1,657,726 | 549,274 | 549,274 |

次年度繰越金 (見込) について

$$\begin{aligned}
 & \text{収入済額 (見込)} - \text{支出済額 (見込)} = \text{次年度繰越金 (見込)} \\
 & 1,921,723\text{円} - 1,657,726\text{円} = 263,997\text{円} \\
 & \hspace{15em} \text{国庫返還金 (見込)} \\
 & \hspace{15em} 263,000\text{円}
 \end{aligned}$$

負担金 (見込) について

$$\begin{aligned}
 & \text{歳出合計 (見込) ①} - \text{前年度国庫返還金 (見込) ②} = \text{総事業経費 (見込) ③} \\
 & 1,657,726\text{円 ①} - 262,000\text{円 ②} = 1,395,726\text{円} \\
 & \text{総事業経費 (見込)} - \text{実質の国庫補助金 (見込)} = \text{負担金 (見込) ④} \\
 & 1,395,726\text{円} - 691,000\text{円} = 704,726\text{円}
 \end{aligned}$$

事項別明細書

(歳入)

| 款 | 項 | 目 | 予 算 現 額 | | | | 調定額 (見込) | 収入済額 (見込) | 備 考 | |
|---------|---------|---------------------|---------------------|---------|--------------|---------|--------------|--|---------|---------|
| | | | 当初予算額 | 補正予算額 | 計 | 節 | | | | |
| | | | | | | 区 分 | | | | 金 額 |
| 1 国庫支出金 | | | 円 954,000 | 円 0 | 円 954,000 | | 円 954,000 | 高齢者医療制度円滑運営事業費補助金 | | |
| | 1 国庫補助金 | | 954,000 | 0 | 954,000 | | 954,000 | | | |
| | | 1 高齢者医療制度円滑運営事業費補助金 | | 954,000 | 0 | 954,000 | | | 954,000 | |
| | | | 1 高齢者医療制度円滑運営事業費補助金 | | | | 954,000 | | 954,000 | 954,000 |
| 2 負担金 | | | 987,000 | 0 | 987,000 | | 704,726 | 保険者等負担金 健康保険組合 27,787円 全国健康保険協会 337,779円 共済組合 42,272円 国民健康保険 164,440円 石川県後期高齢者医療広域連合 132,448円 | | |
| | 1 負担金 | | 987,000 | 0 | 987,000 | | 704,726 | | | |
| | | 1 負担金 | | 987,000 | 0 | 987,000 | | | 704,726 | |
| | | | 1 負担金 | | | | 987,000 | | 704,726 | 704,726 |
| 3 繰越金 | | | 263,000 | 0 | 263,000 | | 262,977 | 前年度繰越金 | | |
| | 1 繰越金 | | 263,000 | 0 | 263,000 | | 262,977 | | | |
| | | 1 繰越金 | | 263,000 | 0 | 263,000 | | | 262,977 | |
| | | | 1 繰越金 | | | | 263,000 | | 262,977 | 262,977 |
| 4 諸収入 | | | 2,000 | 0 | 2,000 | | 20 | 歳計現金預金利子 | | |
| | 1 諸収入 | | 2,000 | 0 | 2,000 | | 20 | | | |
| | | 1 預金利子 | | 1,000 | 0 | 1,000 | | | 20 | |
| | | | 1 預金利子 | | | | 1,000 | | 20 | 20 |
| | | 2 雑入 | | 1,000 | 0 | 1,000 | | | 0 | |
| | | | 1 雑入 | | | | 1,000 | | 0 | 0 |
| 5 借入金 | | | 1,000 | 0 | 1,000 | | 0 | | | |
| | 1 借入金 | | 1,000 | 0 | 1,000 | | 0 | | | |
| | | 1 借入金 | | 1,000 | 0 | 1,000 | | | 0 | |
| | | | 1 借入金 | | | | 1,000 | | 0 | 0 |
| 歳 入 合 計 | | | 2,207,000 | 0 | 2,207,000 | | 1,921,723 | 1,921,723 | | |

(歳出)

| 款 | 項 | 目 | 予 算 現 額 | | | | | 支出済額 (見込) | 不用額 | 備 考 | | |
|--------|---------|-------------|-------------|-----------|-----------|---------|-----------|--------------|---------|---------|--|-------------------|
| | | | 当初予算額 | 補正予算額 | 計 | 節 | | | | | | |
| | | | | | | 区 分 | 金 額 | | | | | |
| 円 | 円 | 円 | | 円 | 円 | 円 | 円 | | | | | |
| 1 総務費 | | | 361,000 | 0 | 361,000 | | | 327,964 | 33,036 | | | |
| | 1 総務管理費 | | 361,000 | 0 | 361,000 | | | 327,964 | 33,036 | | | |
| | | 1 一般管理費 | | 361,000 | 0 | 361,000 | | | 327,964 | 33,036 | | |
| | | | 2 人件費 | | | | 256,000 | 255,723 | 277 | 194,103 | 61,620 | 保険者協議会 作業部会 |
| | | | 9 旅費 | | | | 12,000 | 0 | 12,000 | | | |
| | | | 11 需用費 | | | | 21,000 | 15,030 | 5,970 | 3,380 | 11,650 | 消耗品費 事務連絡費 |
| | | | 12 役務費 | | | | 6,000 | 4,666 | 1,334 | 672 | 3,444 | 電話料 郵便料 手数料 |
| | | | 14 使用料及び賃借料 | | | | 66,000 | 52,545 | 13,455 | 47,660 | 4,885 | 会場使用料等 コピー使用料 |
| 2 事業費 | | 1,582,000 | 0 | 1,582,000 | | | 1,067,762 | 514,238 | | | | |
| 1 事業費 | | | 1,582,000 | 0 | 1,582,000 | | | 1,067,762 | 514,238 | | | |
| | 1 調査研究費 | | 1,582,000 | 0 | 1,582,000 | | | 1,067,762 | 514,238 | | | |
| | | 2 人件費 | | | | 532,000 | 529,929 | 2,071 | 320,423 | 40,052 | データヘルス等推進支援事業 特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発 特定健診等の円滑な実施（被用者保険集合契約の締結） 特定健診・特定保健指導従事者研修会 | |
| | | 8 報償費 | | | | 364,000 | 181,500 | 182,500 | 127,861 | 181,500 | データヘルス等推進支援事業 | |
| | | 9 旅費 | | | | 188,000 | 62,830 | 125,170 | 62,830 | | データヘルス等推進支援事業 | |
| | | 11 需用費 | | | | 45,000 | 8,550 | 36,450 | 6,650 | 1,900 | 消耗品費 事務連絡費 | |
| | | 12 役務費 | | | | 51,000 | 30,373 | 20,627 | 168 | 30,205 | 郵便料 通信運搬費 | |
| | | 13 委託料 | | | | 197,000 | 168,300 | 28,700 | 96,800 | 71,500 | ポスター作成委託料 ホームページ委託費 | |
| | | 14 使用料及び賃借料 | | | | 205,000 | 86,280 | 118,720 | 48,760 | 37,520 | 会場使用料等 コピー使用料 | |
| | | 3 諸支出金 | | 262,000 | 0 | 262,000 | | | 262,000 | 0 | | |
| 1 諸支出金 | | | 262,000 | 0 | 262,000 | | | 262,000 | 0 | | | |
| | 1 諸支出金 | | 262,000 | 0 | 262,000 | | | 262,000 | 0 | | | |
| | | | | | | 1 返還金 | 262,000 | 262,000 | 0 | 国庫返還金 | | |
| 4 予備費 | | 2,000 | 0 | 2,000 | | | 0 | 2,000 | | | | |
| 1 予備費 | | | 2,000 | 0 | 2,000 | | | 0 | 2,000 | | | |
| | 1 予備費 | | 2,000 | 0 | 2,000 | | | 0 | 2,000 | | | |
| 歳出合計 | | | 2,207,000 | 0 | 2,207,000 | | | 1,657,726 | 549,274 | | | |

令和4年度石川県保険者協議会事業費負担金精算額（見込）

(1) 令和4年度負担金精算額（見込）

① 負担金額（見込） 704,726 円

② 既納負担金額 1,944,000 円

③ 精算額（見込） -1,239,274 円

| | | | | |
|------------|---|-------------|---|--------------|
| ① 負担金額（見込） | - | ② 既納負担金額 | = | ③ 精算額（見込） |
| 704,726 円 | | 1,944,000 円 | | -1,239,274 円 |

④ 各構成保険者負担金精算額（見込）

| 医療保険者名 | A 令和4年度負担金額（見込） 円 | B 令和4年度既納負担金額 円 | C 精算額（見込） A-B 円 | 参考：被保険者数（被扶養者含む）※ 人 |
|----------------|----------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|
| 健康保険組合連合会石川連合会 | 27,787 | 76,650 | -48,863 | 36,289 |
| 全国健康保険協会石川支部 | 337,779 | 931,771 | -593,992 | 441,133 |
| 共済組合保険 | 42,272 | 116,607 | -74,335 | 55,206 |
| 石川県国民健康保険 | 164,440 | 453,612 | -289,172 | 214,756 |
| 石川県後期高齢者医療広域連合 | 132,448 | 365,360 | -232,912 | 172,974 |
| 合計 | 704,726 | 1,944,000 | -1,239,274 | 920,358 |

※ 被保険者数（被扶養者含む）は令和3年11月末現在の人数である。

(2) 国民健康保険 保険者別負担金精算額（見込）

| 保険者名 | A 令和4年度負担金額（見込） 円 | B 令和4年度既納負担金額 円 | C 精算額（見込） A-B 円 | 参考：被保険者数（被扶養者含む）※ 人 |
|-------|----------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|
| 金沢市 | 63,244 | 174,461 | -111,217 | 82,596 |
| 七尾市 | 8,197 | 22,611 | -14,414 | 10,705 |
| 小松市 | 14,303 | 39,456 | -25,153 | 18,680 |
| 輪島市 | 5,270 | 14,536 | -9,266 | 6,882 |
| 珠洲市 | 2,602 | 7,177 | -4,575 | 3,398 |
| 加賀市 | 10,490 | 28,937 | -18,447 | 13,700 |
| 羽咋市 | 3,340 | 9,214 | -5,874 | 4,362 |
| かほく市 | 4,716 | 13,009 | -8,293 | 6,159 |
| 白山市 | 15,686 | 43,271 | -27,585 | 20,486 |
| 能美市 | 6,636 | 18,307 | -11,671 | 8,667 |
| 野々市市 | 6,470 | 17,848 | -11,378 | 8,450 |
| 川北町 | 711 | 1,962 | -1,251 | 929 |
| 津幡町 | 4,776 | 13,174 | -8,398 | 6,237 |
| 内灘町 | 3,662 | 10,103 | -6,441 | 4,783 |
| 志賀町 | 3,376 | 9,313 | -5,937 | 4,409 |
| 宝達志水町 | 2,009 | 5,540 | -3,531 | 2,623 |
| 中能登町 | 2,680 | 7,393 | -4,713 | 3,500 |
| 穴水町 | 1,395 | 3,849 | -2,454 | 1,822 |
| 能登町 | 3,090 | 8,523 | -5,433 | 4,035 |
| 医師国保 | 1,787 | 4,928 | -3,141 | 2,333 |
| 合計 | 164,440 | 453,612 | -289,172 | 214,756 |

※ 被保険者数（被扶養者含む）は令和3年11月末現在の人数である。

(3) 総経費（見込）

| 款 | 金額 | 内訳 | 国庫補助金 | 国庫補助金を除いた負担金額 |
|------|-------------|---|-----------|---------------|
| ①総務費 | 327,964 円 | 1 保険者協議会の開催 257,726 円 (内 訳) 人件費 194,103 円 消耗品費 2,730 円 事務連絡費 11,650 円 役務費 4,498 円 使用料及び賃借料 44,745 円 | 123,038 円 | 134,688 円 |
| | | 2 作業部会の開催 70,238 円 (内 訳) 人件費 61,620 円 消耗品費 650 円 役務費 168 円 使用料及び賃借料 7,800 円 | 35,119 円 | 35,119 円 |
| | | 小 計 | 158,157 円 | 169,807 円 |
| ②事業費 | 1,067,762 円 | 1 データヘルス等推進事業 672,456 円 ①データヘルス計画学習会 475,023 円 (内 訳) 人件費 255,722 円 報償費 90,000 円 旅費 21,682 円 消耗品費 6,650 円 事務連絡費 1,900 円 役務費 12,789 円 使用料及び賃借料 86,280 円 ②生活習慣病重症化予防推進事業 197,433 円 (内 訳) 人件費 64,701 円 報償費 91,500 円 旅費 41,148 円 役務費 84 円 | 335,278 円 | 337,178 円 |
| | | 2 特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発 154,352 円 (内 訳) 人件費 40,052 円 ポスター作成委託料 96,800 円 役務費 17,500 円 | 77,176 円 | 77,176 円 |
| | | 3 特定健診等の円滑な実施（被用者保険集合契約の締結） 113,093 円 (内 訳) 人件費 41,593 円 ホームページ管理委託料 71,500 円 | 56,546 円 | 56,547 円 |
| | | 4 特定健診・特定保健指導従事者研修会 127,861 円 (内 訳) 人件費 127,861 円 | 63,930 円 | 63,931 円 |
| | | 小 計 | 532,930 円 | 534,832 円 |
| 合 計 | 1,395,726 円 | | 691,087 円 | 704,639 円 |
| | | 国庫補助金 千円未満切り捨て | 691,000 円 | 704,726 円 |

※国庫補助率：事務連絡費を除いた額の1/2

(2) 令和5年度石川県保険者協議会歳入歳出予算(案)について

資料2

令和5年度石川県保険者協議会事業計画

| 事業名 | 開催月 | 場所 |
|---|---|-----------------------------------|
| 1 保険者協議会の開催 第1回 保険者協議会 (1) 令和4年度石川県保険者協議会事業報告及び歳入歳出決算について (2) 令和5年度石川県保険者協議会事業計画及び歳入歳出予算について (3) その他 第2回 保険者協議会 (1) 令和6年度石川県保険者協議会事業計画(案)及び予算(概算)について (2) その他 第3回 保険者協議会 (1) 令和5年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担(案)について (2) 令和6年度石川県保険者協議会事業計画について (3) 令和6年度石川県保険者協議会歳入歳出予算(案)について (4) 令和6年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担(案)について (5) 作業部会への付託事項(案)について (6) その他 | 令和5年6月 令和5年10月 令和6年1月 | 金沢市 金沢市 金沢市 |
| 2 作業部会の開催 (1) 協議会からの付託事項について (2) その他 | 令和5年4月 | 金沢市 |
| 3 データヘルス等推進事業 (1) データヘルス計画学習会(2回) (2) 生活習慣病重症化予防推進事業(医療保険者への個別指導の実施) | 令和5年6月、10月 令和5年11月 | 金沢市 県内 |
| 4 特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発 ポスター作成及び掲示 | 令和5年4月 | 金沢市 |
| 5 特定健診等の円滑な実施 被用者保険集合契約の締結 | 令和5年4月 | 金沢市 |
| 6 特定健診・特定保健指導従事者研修会の開催 | 令和5年8月～9月 | 金沢市 |
| 7 石川県保険者協議会ホームページの更新 | 随時更新 | |

令和5年度石川県保険者協議会歳入歳出予算（案）

歳入

| 款 | 項 | 令和5年度 当初予算 (案) | 令和4年度 当初予算 | 増減 |
|---------|-----------------------|----------------------|---------------|------------|
| 1 国庫支出金 | | 千円 944 | 千円 954 | 千円 △ 10 |
| | 1 国庫補助金 | 944 | 954 | △ 10 |
| 2 負担金 | | 971 | 987 | △ 16 |
| | 1 負担金 | 971 | 987 | △ 16 |
| 3 繰越金 | | 264 | 263 | 1 |
| | 1 繰越金 | 264 | 263 | 1 |
| 4 諸収入 | | 2 | 2 | 0 |
| | 1 諸収入 | 2 | 2 | 0 |
| 5 借入金 | | | 1 | △ 1 |
| | ※令和5年度予算より削除 1 借入金 | | 1 | △ 1 |
| 歳入合計 | | 2,181 | 2,207 | △ 26 |

歳出

| 款 | 項 | 令和5年度 当初予算 (案) | 令和4年度 当初予算 | 増減 |
|--------|---------|----------------------|---------------|---------|
| 1 総務費 | | 千円 361 | 千円 361 | 千円 0 |
| | 1 総務管理費 | 361 | 361 | 0 |
| 2 事業費 | | 1,555 | 1,582 | △ 27 |
| | 1 事業費 | 1,555 | 1,582 | △ 27 |
| 3 諸支出金 | | 263 | 262 | 1 |
| | 1 諸支出金 | 263 | 262 | 1 |
| 4 予備費 | | 2 | 2 | 0 |
| | 1 予備費 | 2 | 2 | 0 |
| 歳出合計 | | 2,181 | 2,207 | △ 26 |

（歳出の主な増減理由について）

第2款事業費については、特定健診受診等啓発ポスターのデザインについて、前年度は全体的な見直しを行ったが、令和5年度は軽微な変更とすることによる減額。

令和5年度石川県保険者協議会 歳入歳出予算事項別明細書

[歳入]

| 款 | 項 | 目 | 令和5年度 当初予算 (案) | 令和4年度 当初予算 | 比 較 | 節 | | 説明 | |
|---------------------------|---------|-------------------------|-------------------------|---------------|------------|------|-----|--------------------|-----|
| | | | | | | 区 分 | 金 額 | | |
| 1 国庫支出金 | | | 千円 944 | 千円 954 | 千円 △ 10 | | 千円 | 千円 保険者協議会運営補助金 | |
| | 1 国庫補助金 | | 944 | 954 | △ 10 | | | | |
| | | 1 高齢者医療制度円滑 運営事業費補助金 | | 944 | 954 | △ 10 | | | |
| | | | 1 高齢者医療制度円滑 運営事業費補助金 | | | | | | 944 |
| 2 負担金 | | | 971 | 987 | △ 16 | | | 各構成保険者負担金 | |
| | 1 負担金 | | 971 | 987 | △ 16 | | | | |
| | | 1 負担金 | | 971 | 987 | △ 16 | | | |
| | | | 1 負担金 | | | | | | 971 |
| 3 繰越金 | | | 264 | 263 | 1 | | | 国庫補助金返還金 前年度繰越金 | |
| | 1 繰越金 | | 264 | 263 | 1 | | | | |
| | | 1 繰越金 | | 264 | 263 | 1 | | | |
| | | | 1 繰越金 | | | | | | 264 |
| 4 諸収入 | | | 2 | 2 | 0 | | | 預金利子 雑入 | |
| | 1 諸収入 | | 2 | 2 | 0 | | | | |
| | | 1 預金利子 | | 1 | 1 | 0 | | | |
| | | | 1 預金利子 | | | | | | 1 |
| | | 2 雑入 | | 1 | 1 | 0 | | | |
| 1 雑入 | | | | | | 1 | | | |
| 5 借入金 ※令和5年度予算より 削除 | | | | 1 | 0 | | | 借入金 | |
| | 1 借入金 | | | 1 | 0 | | | | |
| | | 1 借入金 | | | 1 | 0 | | | |
| | | | 1 借入金 | | | | | | 1 |
| 歳 入 合 計 | | | 2,181 | 2,207 | △ 26 | | | | |

[歳出]

| 款 | 項 | 目 | 令和5年度 当初予算 | 令和4年度 当初予算 | 比 較 | 節 | | 説明 | | |
|---------|---------|-------------|---------------|---------------|---------|-------|---------|--|------------------------|----------|
| | | | | | | 区分 | 金額 | | | |
| 1 総務費 | | | 千円 361 | 千円 361 | 千円 0 | | 千円 | 千円 | | |
| | 1 総務管理費 | | 361 | 361 | 0 | | | | | |
| | | 1 一般管理費 | 361 | 361 | 0 | | | | | |
| | | 2 人件費 | | | | | 256 | 保険者協議会・作業部会 | | |
| | | 9 旅費 | | | | | 12 | 委員等旅費 | | |
| | | 11 需用費 | | | | | 21 | 消耗品費、事務連絡費 | | |
| | | 12 役務費 | | | | | 6 | 電話料、郵便料、手数料 | | |
| | | 14 使用料及び賃借料 | | | | | 66 | 会場等借料 コピー使用料 | | |
| | | | | | | | 60 6 | | | |
| 2 事業費 | | | 1,555 | 1,582 | △ 27 | | | | | |
| | 1 事業費 | | 1,555 | 1,582 | △ 27 | | | | | |
| | | 1 調査研究費 | 1,555 | 1,582 | △ 27 | | | | | |
| | | 2 人件費 | | | | | 530 | データヘルス等推進支援事業 特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発 特定健診等の円滑な実施(被用者保険集合契約の締結) 特定健診・特定保健指導従事者研修会 | 320 40 42 128 | |
| | | 8 報償費 | | | | | 363 | データヘルス等推進支援事業 特定健診・特定保健指導従事者研修会 | 271 92 | |
| | | 9 旅費 | | | | | 187 | データヘルス等推進支援事業 特定健診・特定保健指導従事者研修会 | 136 51 | |
| | | 11 需用費 | | | | | 44 | 消耗品費、事務連絡費、印刷製本費 | | |
| | | 12 役務費 | | | | | 50 | 郵便料、通信運搬費 | | |
| | | 13 委託料 | | | | | 176 | ポスター作成委託費 ホームページ委託費 | 104 72 | |
| | | 14 使用料及び賃借料 | | | | | 205 | 会場等借料 コピー使用料 自動車借上げ | 120 70 15 | |
| | | 3 諸支出金 | | | 263 | 262 | 1 | | | |
| | | | 1 諸支出金 | | 263 | 262 | 1 | | | |
| | | | | 1 返還金 | 263 | 262 | 1 | | | |
| | | | | 1 返還金 | | | | | 263 | 国庫補助金返還金 |
| 4 予備費 | | | 2 | 2 | 0 | | | | | |
| | 1 予備費 | | 2 | 2 | 0 | | | | | |
| | | 1 予備費 | 2 | 2 | 0 | 1 予備費 | 2 | 予備費 | | |
| 歳 出 合 計 | | | 2,181 | 2,207 | △ 26 | | | | | |

資料 3

(3) 令和5年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担(案)について

1 令和5年度負担金(案)

| | | |
|------------|----------|------------|
| 歳入合計 | 3繰越金 | 負担金(案) |
| 2,181,000円 | 264,000円 | 1,917,000円 |

(注) 7ページ「令和5年度石川県保険者協議会歳入歳出予算(案)」の歳入合計より3繰越金を除いた額

2 令和5年度構成保険者別負担金(案)について

(1) 構成保険者別負担金(案)算出方法

| | | | | |
|------------|---|------------------------|---|------------------------|
| 負担金(案) | × | 構成保険者被保険者数 (被扶養者含む) | ÷ | 全保険者の被保険者数 (被扶養者含む) |
| 1,917,000円 | | | | |

(2) 構成保険者別負担金(案)

| 構成保険者名 | 被保険者数 (被扶養者含む) 令和4年11月末現在 | 負担金(案) |
|----------------|---------------------------------|-----------|
| 健康保険組合連合会石川連合会 | 36,930 人 | 77,758 円 |
| 全国健康保険協会石川支部 | 425,819 | 896,583 |
| 共済組合保険 | 62,407 | 131,401 |
| 石川県国民健康保険 | 203,480 | 428,437 |
| 石川県後期高齢者医療広域連合 | 181,815 | 382,821 |
| 合計 | 910,451 | 1,917,000 |

(注) 負担金(案)については当該年度の前年度の11月末現在の被保険者数(被扶養者含む)により按分し算出する。

3 負担金の精算について

(1) 時期 令和5年度事業が終了、且つ、国庫補助金の受入れ・返還が完了次第、精算する。

(2) 方法 構成保険者別負担金(当初)の算出に用いた被保険者数(被扶養者含む)で按分する。

国民健康保険保険者別負担金（案）

| 保険者名 | 被保険者数 (被扶養者含む) 令和4年11月末現在 | 負担金（案） |
|-------|---------------------------------|---------|
| | 人 | 円 |
| 金沢市 | 79,271 | 166,909 |
| 七尾市 | 10,110 | 21,287 |
| 小松市 | 17,509 | 36,866 |
| 輪島市 | 6,377 | 13,427 |
| 珠洲市 | 3,106 | 6,540 |
| 加賀市 | 12,761 | 26,869 |
| 羽咋市 | 4,061 | 8,551 |
| かほく市 | 5,789 | 12,189 |
| 白山市 | 19,220 | 40,469 |
| 能美市 | 8,300 | 17,476 |
| 野々市市 | 8,047 | 16,943 |
| 川北町 | 849 | 1,788 |
| 津幡町 | 6,056 | 12,751 |
| 内灘町 | 4,587 | 9,658 |
| 志賀町 | 4,073 | 8,576 |
| 宝達志水町 | 2,442 | 5,142 |
| 中能登町 | 3,216 | 6,771 |
| 穴水町 | 1,708 | 3,596 |
| 能登町 | 3,725 | 7,843 |
| 医師国保 | 2,273 | 4,786 |
| 合計 | 203,480 | 428,437 |

(4) 令和5年度作業部会への付託事項(案)について

① 特定健診受診等啓発ポスター作成について(資料4-1) 【継続】

特定健診受診啓発という目的は継続し、新たなテーマの検討

※特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発事業として
国庫補助を申請しているため。

《参考》

平成27年度から令和3年度まで北陸新幹線と男性をモチーフに作成
令和4年度はこれまでの図柄を全面的に変更。

ポスターの背景に全保険者のキャラクターまたは市町の章、社章を並べる

② 重症化予防による生活習慣病対策推進事業について(資料4-2) 【継続】

保険者の選定方法、事業の実施内容

《参考》保険者の選定方法

これまで申し込みのあった各医療圏から1保険者ずつ選定すること
とし、実施していない保険者を優先した。

平成27・28年度：北陸鉄道健康保険組合

平成29年度：小松市、内灘町、志賀町

平成30年度：羽咋市、能美市、宝達志水町

令和元年度：小松市、野々市市、津幡町、宝達志水町

令和2年度：珠洲市、白山市、能美市、内灘町

令和3年度：北陸鉄道健康保険組合、能美市

令和4年度：能美市、津幡町、志賀町

※令和元年度及び令和2年度については講師の日程調整
により申し込みされた4保険者について事業を実施した。

③ 石川県内における健診データ等の分析について(資料4-3) 【継続】

○把握、提供可能なデータ、データ収集時期の検討

○データの精度を上げる(医療費情報の疾病分類について)

令和5年度特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発（案）

特定健診受診啓発ポスター作成及び掲示について

1 目的

特定健診をより多くの方々に関心を持っていただき、特に生活習慣病医療によって現在も医療機関へ受診されている方々に対し健診の必要性を理解していただくためポスターを作成し、健診の受診率等の更なる向上を図る。

2 仕様等

- (1) サイズ：A2
- (2) 配布時期：5月
- (3) 作成枚数：1,350枚
- (4) 予算：104,500円（税込）
- (5) 配布先：「令和5年度ポスター配布予定一覧（案）」参照

3 コンセプト

- ①健診の受診率等の更なる向上を図るとともに、健康づくりに関心をもってもらう
- ②糖尿病、高血圧等で治療の方も健診の対象であることを理解してもらう

4 図柄

ポスターの背景に全保険者のキャラクターまたは市町の章、社章を並べる

令和5年度ポスター配付先一覧（案）

| 配布先 | 部数 | 備考 |
|-------------------|-------|--|
| 健康保険組合連合会石川連合会等 | 16 | 健保連石川連合会 5部（予備含） 健康保険組合 11組合×1部 |
| 全国健康保険協会石川支部 | 20 | 要求部数に応じ配布 |
| 共済組合保険 | 12 | 4組合×3部 |
| 石川県内市町国保 | 57 | 19市町国保×3部 |
| 石川県医師国保組合 | 3 | |
| 石川県後期高齢者医療広域連合 | 3 | |
| 石川県健康福祉部健康推進課 | 3 | |
| 石川県医師会 | 280 | 郡市医師会（金沢市医師会除く） 256機関＋予備24 |
| 金沢市医師会 | 210 | 金沢市内医療機関 194機関＋予備16 |
| 石川県薬剤師会 | 500 | 加賀支部 30機関 小松・能美支部 67機関 白山・野々市支部 70機関 金沢支部 204機関 河北支部 28機関 羽咋支部 14機関 七尾・鹿島支部 26機関 輪島支部 8機関 鳳珠支部 13機関 珠洲支部 1機関 ※上記10支部に予備各2部 本部予備19 |
| 石川県商工会連合会 | 21 | |
| 石川県スーパーマーケット連絡協議会 | 103 | 13社（加盟店舗） |
| 石川県公衆浴場業生活衛生同業組合 | 40 | 52社（加盟店舗） |
| その他（国保連合会内掲示） | 4 | |
| 配付枚数計 | 1,272 | |
| 予備 | 78 | |
| 総数 | 1,350 | |



全国健康保険協会 石川支部
協会けんぽ

地方職員
共済組合
石川県支部

公立学校
共済組合
石川県支部

警察
共済組合
石川県支部

石川県
市町村職員
共済組合



金沢市



七尾市



小松市
カブッキー



輪島市
カモっぴ



珠洲市
みつけたろう



加賀市
健診カモンくん



羽咋市



かほく市
にゃんたろう



石川県
けんしんくん



白山市
ゆきママとしずくちゃん



能美市
ひぼ能ん、ほぼ能ん、ゆず美ん



野々市市
のっぴ



川北町



津幡町
よしなかくん



内灘町
ウッチーとナディ



志賀町
西能登あかり



宝達志水町
ほっぴーさん



中能登町
おりひめ



穴水町



能登町
のっとりん

石川県
医師国民健康
保険組合

石川県
後期高齢者医療
広域連合

糖尿病・高血圧等で治療中の方も
特定健診・後期高齢者健診を受けましょ

メタボ増加中!

石川県保険者協議会

保険者協議会は、健保組合、協会けんぽ、共済組合、市町村国保、国保組合、後期高齢者医療広域連合が連携・協力し、生活習慣病予防のための保健事業を効果的に実施することを目的に設置されました。

資料4-2

重症化予防による生活習慣病対策推進事業実施要領（案）

1 目的

標準的な健診・保健指導プログラムでは、対象者が健診結果に基づき、自らの健康状態を認識した上で、代謝等の身体のメカニズムと生活習慣（食習慣や運動習慣等）との関係を理解し、生活習慣の改善を自らが選択し、行動変容に結びつけられるようにすることが求められております。

また、自覚症状のない生活習慣病は自己管理が重要で、自己管理のためには、住民自身が自分の身体を客観的なデータで知っていることが大事だと認識し、健診が住民自身のものになることが大切です。

これらのことが実現できれば、生活習慣病の発症予防、重症化予防にもつながることとなります。

このことを踏まえ、効果的な個別指導が推進できる人材を育成し、将来的な医療費の伸びの適正化に資することを目的とします。

2 実施主体

実施を希望する保険者、石川県保険者協議会

3 事業内容

実施を希望する保険者（3保険者程度）において以下を実施

実施希望保険者の保健師、管理栄養士等が実施する保健指導の現場に指導者が同行し効果的な保健指導について学ぶ。

- (1) 保健指導前の健診結果読み取り学習会
- (2) 対象者への保健指導（担当者と講師と随行1名可）
- (3) 保健指導後学習会 保健指導後の感想と事例学習

※（1）及び（3）については、他保険者も場合により参加可

4 経費

この事業に係る経費の国庫補助金を除く経費は、各医療保険者が応分の負担をする。

5 実施時期 令和5年11月

【参考】これまでの実績

| | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | |
|---------------|--------|--------------|---------|--------------|-------------|------------|---------------|-----|
| 実施 保険 者 | 被用者保険者 | | | | | 北陸鉄道 | | |
| | 二次医療圏 | 南加賀 | 小松市 | 能美市 | 小松市 | 能美市 | 能美市 | 能美市 |
| | | 石川中央 | 内灘町 | | 野々市市 津幡町 | 白山市 内灘町 | | 津幡町 |
| | | 能登中部 能登北部 | 志賀町 | 宝達志水町 羽咋市 | 宝達志水町 | 珠洲市 | | 志賀町 |
| 実施時期 | | 11/13～15 | 9/19～21 | 7/9～11 | 10/20～22 | 11/17, 18 | 11/10, 29, 30 | |

健診経年結果一覧

| | | 67歳 | | 68歳 | |
|------------------------|--------------------------------|------------------------------|----------|------|----|
| 判定値を超えているデータには色が付いています | | R3.10.30 | R4.10.16 | | |
| 基礎値 | | 空腹 | 空腹 | 空腹 | 空腹 |
| 身長 | cm | 163.0 | 163.5 | | |
| 体重 | kg | 59.6 | 57.1 | | |
| BMI | ~24.9 | 22.4 | 21.4 | | |
| 腹囲 | 男女 ~ 85 cm未満 ~ 90 cm未満 | 81.0 | 79.8 | | |
| 中性脂肪 | ~ 149 mg/dl | 薬 114 | 82 | | |
| HDLコレステロール | 40 ~ mg/dl | 薬 48 | 61 | | |
| AST(GOT) | ~ 30 U/l | 22 | 21 | | |
| ALT(GPT) | ~ 30 U/l | 23 | 16 | | |
| γ-GT(γ-GTP) | ~ 50 U/l | 21 | 16 | | |
| 血圧 | 収縮期 | 薬 136 | 155 | | |
| | 拡張期 | 薬 72 | 103 | | |
| 尿酸 | ~ 7 mg/dl | 5.7 | 7.7 | | |
| 血糖 | 空腹 | 薬 279 | 薬 185 | | |
| | 食後 | ~ 99 mg/dl ~ 139 mg/dl | | | |
| HbA1c (NGSP) | ~ 5.5 % | 薬 16.4 | 薬 8.3 | | |
| 尿糖 | (-) | + | + | | |
| LDLコレステロール | ~ 119 mg/dl | 薬 139 | 188 | | |
| non-HDLコレステロール | ~ 149 mg/dl | 薬 165 | 216 | | |
| 血清クレアチニン | 男 | 1.33 | 1.87 | | |
| | 女 | ~ 1.29 mg/dl ~ 1.19 mg/dl | | | |
| eGFR※ (糸球体ろ過量) | 60 ~ ml/min/1.73m ² | 42.5 | 29.1 | | |
| 微量アルブミン尿 | ~ 30 mg未満 | | | | |
| 尿蛋白 | (-) | + | + | | |
| 尿潜血 | (-) | - | - | | |
| 心電図 | 異常なし | 心室伝導障害 | | | |
| 眼底検査 | HOS0 | | HOS0 | | |
| ハマトクット | 男 | ~ 45.9 % | 45.0 | 50.8 | |
| | 女 | ~ 46.9 % | | | |
| 血色素(ヘモグロビン) | 男 | 13.1 ~ 17.9 g/dl | 14.8 | 16.3 | |
| | 女 | 12.1 ~ 15.9 g/dl | | | |

※eGFRは以下の式で算出する(日本腎臓学会「CKD診療ガイドライン」より)
 $eGFR(ml/min/1.73m^2) = 194 \times \text{年齢}^{-0.017} \times \text{血清クレアチニン(酵素法)}^{-1.094}$ (女性は $\times 0.739$)
 ※腎ノートP()に血清クレアチニンからの推算GFR値早見表がついています

(保健指導同行者)

糖尿病の運動療法について、どのタイミングで行うことが一番効果的かという話が印象に残った。体内での代謝のメカニズムを正しく理解し、住民の方に伝えるように簡単に説明することで、住民の方が“自ら気づく”保健指導につながる感じた。説明を聞きながら、今までの自分の保健指導はどうだったかと振り返り、用意した資料を順番に並べながらひたすら説明していったことを思い返した。事前に健診結果を読み取って、準備をしていくことは大切だが、それだけでなく、相手の反応を見ながらその都度対応していく力が必要と感じた。

また、講師の話聞き、わからないことを宿題にするといい、次の訪問につなげるという方法を参考にしたい。今まではどんなことを質問されるのか、答えられなかったらと不安になっていたが、それを素直に伝えることが大切だと感じた。住民との面談の機会を一度で終わらせることなく、何度でもつなげていけるように、いろいろな工夫を考えたい。

普段は高齢者と接することが多く、介護サービスの調整に時間を費やしてしまうことがほとんどだが、健診結果を確認し、保健指導を行う時間を少しでも増やしていきたい。高齢者は多剤服用がほとんどで基礎疾患もいくつも抱えていることが多く、重症化を予防するためにも今まで以上に意識していきたいと感じた。今までは疾患毎に着目して行っている学習会も今後は事例検討になりより実践に近づいたものになると思うため、月に一度の学習会の機会を大切に、少しでも多くの知識を身につけていきたい。

(保健指導同行者)

今回、講師の保健指導計画の立て方、訪問時の様子等についてお話を聞き、訪問時の相手の発言などから、どう伝えればよいかを瞬時に考え、絵に描いてメカニズムを説明したと聞き、教材で伝えるだけが指導ではないのだと思った。また、一度で伝えようとしがちだが、「わからないうので、次回の宿題にしますね」と伝え、1回で終わらせず次回につなげることも指導において大切だと学んだ。

事前の健診結果の読み取りにおいては、高い低いで読み取りがちだが、データを繋げて読み取ることが大事であり、なぜ食事が大事なのか、運動するのかを相手理解しやすいように伝える技術を身につけていくことが必要であり、そのためには指導の積み重ねが大事だと感じた。講師が47歳から学んだという言葉聞き、ベテラン、中堅と言われる年齢だが、保健指導の原理・原則の基本に立ち返り、学習を重ねていきたいと思った。

健診経年結果一覧

判定値を超えているデータには色が付いています
危険度 4 5 6 7 8 9

| 項目 | 基準値 | | | | | 66歳 | 67歳 | 68歳 | 69歳 | 70歳 |
|--------------------------------------|-------------------|--|-----|----|----------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|---------------|
| | 身長 | 体重 | BMI | 腹囲 | 中性脂肪 | H30.8.9 空腹 | R1.7.16 空腹 | R3.1.20 食後3.5 | R3.10.5 空腹 | R4.8.24 空腹 |
| 身体 の 大きさ | 身長 | cm | | | | 172.3 | 171.2 | 171.0 | 171.2 | 171.1 |
| | 体重 | Kg | | | | 75.5 | 67.1 | 77.0 | 76.5 | 74.6 |
| 内臓 脂肪 の 蓄積 | BMI | ~ 24.9 | | | 25.4 | 22.9 | 26.3 | 26.1 | 25.5 | |
| | 腹囲 | ~ 85 cm未満 ~ 90 cm未満 | | | 93.0 | 83.9 | 90.0 | 90.1 | 90.6 | |
| 血管 への 影響 | 中性脂肪 | ~ 149 mg/dl | | | 薬 108 | 81 | 138 | 104 | 124 | |
| | HDLコレステロール | 40 ~ mg/dl | | | 薬 57 | 54 | 66 | 67 | 72 | |
| (動脈 硬化 の 危険 因子) | AST(GOT) | ~ 30 U/l | | | 44 | 22 | 15 | 19 | 16 | |
| | ALT(GPT) | ~ 30 U/l | | | 67 | 18 | 12 | 16 | 14 | |
| 内臓 障害 | γ-GT(γ-GTP) | ~ 50 U/l | | | 156 | 41 | 30 | 31 | 37 | |
| | 収縮期 拡張期 血圧 | ~ 129 mmHg ~ 84 mmHg | | | 130 70 | 139 76 | 120 60 | 144 75 | 160 79 | |
| イ ン ス リ ン 抵 抗 性 | 尿酸 | ~ 7 mg/dl | | | 5.6 | 5.4 | | 5.4 | 6.3 | |
| | 血糖 | 空腹 食後 ~ 99 mg/d ~ 139 mg/d | | | 薬 210 薬 110 | 薬 185 薬 102 | 薬 薬 9.9 | 薬 192 薬 10.5 | 薬 201 薬 10.0 | |
| その 他の 動脈 硬化 危険 因子 | HbA1c (NGSP) | ~ 5.5 % | | | ++++ | ++ | +++ | ++ | ++++ | |
| | 尿糖 | (-) | | | | | | | | |
| 腎 臓 | LDLコレステロール | ~ 119 mg/dl | | | 薬 130 | 103 | 121 | 108 | 141 | |
| | non-HDLコレステロール | ~ 149 mg/dl | | | 薬 142 | 122 | | 128 | 169 | |
| 血管 変化 | 血清クレアチニン | 男女 ~ 1.29 mg/dl ~ 1.19 mg/dl | | | 0.58 | 0.68 | 0.64 | 0.7 | 0.76 | |
| | eGFR※ (糸球体ろ過量) | 60 ~ ml/min/1.73m ² | | | 105.8 | 88.5 | 94.2 | 85.0 | 77.4 | |
| 心 臓 | 微量アルブミン尿 | ~ 30 mg未満 | | | | | | | | |
| | 尿蛋白 | (-) | | | | - | - | - | 士 | |
| 脳 | 尿潜血 | (-) | | | | - | - | - | - | |
| | 心電図 | 異常なし | | | | | | | | |
| 眼 底 検査 | HOS0 | | | | HOS0 | | | HOS0 | HOS0 | |
| | 眼底検査 | | | | | | | | | |
| 血 管 の 病 変 | ハマトグリアット | 男女 ~ 45.9 % ~ 45.9 % | | | 42.5 | 42.0 | | 43.7 | 43.0 | |
| | 血色素(ヘモグロビン) | 男女 13.1 ~ 17.9 g/dl 12.1 ~ 15.9 g/dl | | | 13.9 | 14.0 | | 13.9 | 14.0 | |

※eGFRは以下の式で算出する(日本腎臓学会「CKD診療ガイドライン」より)
eGFR(ml/min/1.73m²) = 194 × 年齢^{-0.287} × 血清クレアチニン(酵素法)^{-1.094} (女性は × 0.739)
※腎臓病(CKD)に血清クレアチニンからの推算GFR値早見表がついています

(保健指導同行者)

糖の流れについて、講師より教えていただいたメカニズムを翌日の保健指導で若手の保健師が早速、町民の方に伝えていく様子が見られた。(朝は起きてから1時間以内に食事することなど)自分も、からだノートを使いながら、糖の流れについて説明を行った。聞くと、朝起きてから夫の起床時間に合わせ朝食をとる方で、朝食までの時間が1時間以上空いていて、お腹がすく間、黒砂糖の飴をなめているのとどだった。朝から血糖が上がらなければいけないのだということがわかり、お伝えすると、「あらそうなんやね。そしたら飴なめんど(夫より)先に食べた方がいいね。」と返答があった。指導の中で、食事の時間や内容を聞く際、寝る時間帯を気にすることはあっても、朝の起床時間と朝食の時間が、血糖上昇と結びつくことの把握が抜けていたことに気づくことができ、町の課題である糖尿病対策の一つとして活用していきたいと思えました。

今回、担当部署だけではなく、地区担当として課内の保健師、管理栄養士がほぼ全員参加でき、研修の間もみんながわからないことを講師に積極的に質問している様子が見られ、保健指導をする際の意識付けになったのではないかと感じた。またみんなまで共有し、学習会においても確認しあうことを継続していきたい。

(保健指導同行者)

講師のお話を聞き、自分は糖代謝のメカニズムを全然理解しないまま保健指導をしていたことに気が付いた。なぜかという理由の部分丁寧な伝えることで住民さん自身が体について理解し、体を大切にしなければいけないと思ってもらえると学んだ。

実際に、保健指導で肝臓のイラストを使い糖代謝について説明すると、今までの住民さんの反応とは全く違い、住民さんの方から聞かなくても食事や運動のお話をたくさんしてくださり、また、食べ方の工夫や運動についても実践したいとメモをとる方もおり、こちらの伝え方で住民の意識も変わってくると実感した。

今回は糖代謝のお話を中心だったが、その他のお話もぜひお聞きしたい。

定期健康診断 結果一覧

| 身体 の 大き さ | 年度末年齢 | | 45歳 | 46歳 | 47歳 | 50歳 | 68歳 |
|----------------------|---------------------------------------|--|---------|----------|----------|----------|--------|
| | 基準値 | | H11.6.6 | H12.5.31 | H13.5.27 | H16.8.13 | R4.7.8 |
| 身長 | cm | | 168.5 | 168.3 | 168.9 | 168.5 | 168.5 |
| 体重 | kg | | 78.0 | 78.5 | 80.0 | 75.0 | 74.6 |
| BMI | ~ 24.9 | | 27.5 | 27.7 | 28.0 | 26.4 | 26.3 |
| 腹囲 | 男女 ~ 85 cm ~ 90 cm | | | | | | 92.0 |
| 内臓脂肪 | ~ 149 mg/dl | | 180 | 220 | 227 | 204 | 156 |
| HDLコレステロール | 40 ~ | | 32 | 32 | 30 | 33 | 33 |
| AST(GOT) | ~ 30 U/l | | 19 | 15 | 17 | 16 | 18 |
| ALT(GPT) | ~ 30 U/l | | 41 | 34 | 42 | 31 | 28 |
| γ-GT(γ-GTP) | ~ 50 U/l | | 47 | 42 | 49 | 39 | 20 |
| 収縮期 | ~ 129 mmHg | | 119 | 120 | 130 | 134 | 140 |
| 拡張期 | ~ 84 mmHg | | 81 | 88 | 80 | 88 | 76 |
| 尿酸 | ~ 7 mg/dl | | 5.1 | 5.1 | 4.8 | 5.1 | 4.8 |
| 血糖 | 空腹 ~ 99 mg/dl 直後 ~ 138 mg/dl | | 159 | 160 | 196 | 203 | 128 |
| HbA1c (NGSP) | ~ 5.5 % | | 8.5 | 8.4 | 9.5 | 10.6 | 7.6 |
| 尿糖 | (-) | | + | + | ++ | - | ++++ |
| その他の 動脈硬化 危険因子 | ~ 119 mg/dl ~ 149 mg/dl | | 178 | 172 | 182 | 164 | 94 |
| 腎臓 | ~ 1 me/dl ~ 0.7 me/dl | | 0.8 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.87 |
| 尿蛋白 | (-) | | - | - | - | ++ | - |
| 尿潜血 | (-) | | - | - | - | - | - |
| 心電図 | 所見なし | | | | | | 所見あり |
| 眼底検査 | HOSO | | HOSO | HOSO | HOSO | HOSO | HOS1 |
| 血管の 易血栓化 | ~ 45.9 % ~ 45.9 % | | 46.3 | 46.1 | 44.6 | 46.3 | 45.0 |
| 総コレステロール | 13.1 ~ 12.1 ~ | | 15.2 | 15.3 | 15.1 | 14.8 | 14.8 |
| eGFR | ~ 199 | | 210 | 204 | 212 | 197 | 127 |
| 尿中アルブミンC-補正値 | 80 ~ ~ 29.9 | | 83.1 | 95.5 | 94.9 | 93.3 | 67.3 |
| | | | | | | | 31.5 |

(保健指導同行者)

今回、自分の担当している方に初めてリブレを活用した。指定された様式で対象者に食事記録や血糖値の記録をしてもらったが、その様式が使いにくい、わかりづらい、ということは気づけなかった。対象者に2週間も記録していただき、かつ自分で指導をするにもかかわらず、気づけなかった点に反省をし、睡眠と食事を含む生活リズムと血糖値の変動をあわせて確認することが、リブレの目的として大切だと再確認できた。

訪問に同行し、本人の興味のあることなど、その言葉を拾って説明につなげていくのが印象的だった。対象者さんは「食後に運動をする」ことで血糖値の低下を見込めると認識し、食後に運動をしていたが、食後に運動をする意味に加え、運動の内容によりどのような効果があるのかなど説明し、私はそこまでの説明をしたことがなかったと思った。対象者が飲んでる薬が、実際にどのような役割があるのか説明されていたことも印象的で、私はできるだけ簡単な説明しよう、と心掛けていたが、「簡単に説明＝対象者さんがイメージしやすくわかりやすい説明」ではなかったと感じた。講師から「対象者さんは、本当のところを知りたいんだよ」と教えていただき、当たり前のことを私は軽視してしまっていたような気がした。

食事指導に関しても、栄養士任せになっていた部分があったので、より勉強し具体的に伝えられるようになりたいと思った。

(保健指導同行者)

講師のわかりやすい体・検査データ・生活が繋がっていく保健指導を目の当たりにすることができ、自分も早く資料（糖のながれについて考えてみました。薬の作用について考えてみました）を使って住民に体を大事に思ってもらいたいと感じた。また、住民の価値観に寄り添う（お菓減らしたいですよね）、本人を問い詰めない（遺伝なんです。食事などすぐ指導しない）、本人の思いに添える（2食で栄養が足りていればOK（否定しない）。具体的に数字で伝える。本人が低血糖を心配している→低血糖が怖い理由と機序を伝える。食事をとらないとインスリンが出ないどころか、遅れて出たインスリンによって油になる）、すべてシナリオがスムーズにつなげていくので、住民も自分の体のことを一生懸命考えている反応。この時間を聞いてみたい」と思ってもらえるし、受診勧奨しなくても健診も受けてもらえる。実際に、講師の資料で実践してみたい、「こういことですか?」、「どうしたらいい?」と聞いてもらえた。情報盛りだくさんになりがちなので、作戦をたてては反省して繰り返していきたい。